

病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	局所麻酔薬単回投与による腕神経叢ブロックの効果持続時間に関する後ろ向き観察研究 (研究番号: 23-2109-00-00-00)
当院の研究責任者 (所属)	垣花学 (琉球大学大学院医学研究科麻酔科学講座)
他の研究機関および 各機関の研究代表者	なし
本研究の目的	超音波装置を用いた神経描出が容易になったことから肩を含む上肢の手術において、局所麻酔薬を用いた腕神経叢ブロックは日常的に行われるようになってきました。単回局所麻酔薬投与は局所麻酔薬の効果持続時間を過ぎると術後疼痛が出現しますが、症例によってその持続時間が大きく異なることを臨床的に経験しております。この効果持続時間は、局所麻酔薬の種類、投与濃度、投与量、投与部位などが複雑に絡んでいると考えられていますが、それに関する学術的な報告は少ない現状です。そこで今回、琉球大学病院における腕神経叢ブロックの実際の効果持続時間ならびにそれに関わる因子に関して後ろ向きに検討することと致しました。
研究実施期間	研究機関の長の許可日 ~ 2024年6月30日
調査データ(該当期間)	2016年1月1日~2022年12月31日の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	●対象となる患者さま ① 2016年1月1日から2022年12月31日の期間に琉球大学病院において腕神経叢ブロック併用した全身麻酔を受けられた6歳以上の患者さま ●利用する試料・情報 電子カルテ上に記録された神経ブロック持続時間、患者特性(年齢、身長、体重、BMI、ASA PS、糖尿病の有無、鎮痛薬の種類)、手術特性(手術時間、手術部位など)そしてブロック特性(局所麻酔薬の種類、濃度、投与量、体重当たりの投与量など)
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	得られた情報の他の研究機関への提供: なし
試料・情報の二次利用	得られた情報の二次利用: なし

<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>研究において対象者の情報を扱う際は、個人情報とは関係のない符号または番号を付して匿名化する。論文作成時、学会発表時には個人が特定できる情報は一切用いない。また、同意の範囲外において情報の利用を行わない。</p> <p>保管期間：本研究において採取したデータは、少なくとも本研究終了報告から5年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過したいずれか遅い日までの期間保管する。対応表を保管する場合も同期間、保管する。</p> <p>保管方法：紙媒体は麻酔科医局の施錠できる棚に保管し、データは麻酔科医局のアクセス権が限られたパソコン内で適切に保管する。</p> <p>廃棄方法：紙媒体はシュレッダー、データは復元できない方法で完全に削除し、個人情報に十分注意して行う。対象者及びその家族等から参加拒否または同意撤回があった場合には、対象患者に関するデータはすみやかに破棄する（ただし、解析終了後はデータの削除は不可能とする）。</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>なし</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>電話：098-895-1189 担当者：垣花 学（琉球大学麻酔科）</p>
<p>備考</p>	